

## 株式の状況 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	20,111,598株
株主総数	6,783名
大株主	

株主名	持株数	持株比率
タイガー興産有限会社	1,965 千株	9.8 %
タイガス取引先持株会	1,805	9.0
澤田宏治	888	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	879	4.4
T.P.C持株会	790	3.9
株式会社京都銀行	776	3.9
澤田裕治	480	2.4
澤田純治	469	2.3
タイガスポリマー従業員持株会	420	2.1
INTERACTIVE BROKERS LLC	385	1.9

(注) 持株比率は、自己株式(206,821株)を控除して算出し、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

## 所有者別株式分布状況

個人・その他	9,224,428株 (45.8%)
金融機関	3,529,419株 (17.5%)
その他国内法人	4,959,291株 (24.6%)
外国人	1,911,683株 (9.5%)
証券会社	279,956株 (1.3%)
自己名義株式	206,821株 (1.0%)

(注) 持株比率は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

## SHAREHOLDER MEMO

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告 <a href="https://tigers.jp/">https://tigers.jp/</a> ただし、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先・連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009 ※取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
住所変更・単元未満株式の買取・買増等のお申出先	お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
未支払配当金のお支払い	株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## 会社の概要 (2024年9月30日現在)

商号	タイガスポリマー株式会社 TIGERS POLYMER CORPORATION
設立年月日	1948年12月20日
本店所在地	大阪府豊中市新千里東町一丁目4番1号
資本金	4,149,555,676円
従業員数	連結：1,940名 個別：576名
事業の内容	合成樹脂、ゴム及びそれらの複合資材をもとに、ホース、ゴムシート、成形品、その他金型などの製造販売

## 役員 (2024年9月30日現在)

代表取締役社長	澤田宏治
取締役会長	渡辺健太郎
常務取締役	植田英司
取締役	井上宏章
取締役	渡邊剛
取締役	富田保彦
取締役	豊田裕之
取締役(社外)	小西華子
取締役(社外)	細見拓人
監査役	田村洋一
監査役(社外)	釜中利仁
監査役(社外)	富山聡子

## 株主名簿管理人等変更のお知らせ

当社の株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社は、三井住友信託銀行株式会社と2025年1月1日をもって合併いたします。これに伴い、同日以降、次のとおり変更となります。

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵送物送付先 / 電話照会先  
〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-49-7009 (フリーダイヤル)  
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
- インターネットホームページURL  
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- よくあるご質問 (FAQ)  
[https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

## 第83期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

## 株主・投資家の皆さまへ

## TOP MESSAGE



代表取締役社長

澤田 宏治

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、第83期中間報告書(2024年4月1日から2024年9月30日まで)をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、1938年にゴムホース・工業用ゴム製品のメーカーとして創業しました。創業時より培ってきた、合成樹脂とゴムを材料に、「3つの技術(ホース、ゴムシート、モールド(成形品)を作る技術)」を使い、「4つの市場(家電、自動車、土木・建築・住宅、産業資材)」に販売、バランスの取れた経営戦略を構築し、ニッチな市場で高いシェアを獲得することを基本方針としております。

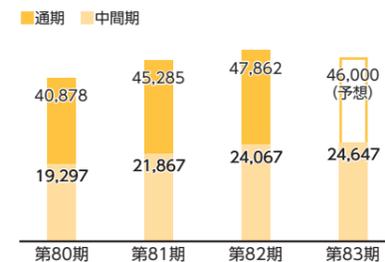
さらには、「独自の技術で開発した機能部品を世界の市場に提供する」という方針に基づき、積極的な研究開発投資により、多種多様な「製品開発能力」並びに「性能解析能力」を高め、独自性の強い新製品を世界の市場に広く提供しております。

また、「信念ある柔軟性」という社是のもと、時代の流れを着実に捉えながら、広い視野と見識を持って変化に向き合える人材の育成に専心するとともに、損得以前にまずは善悪を基準に自分たちが成すべきことは何かを定め、徹底した顧客指向によって、株主の皆さまや社会からの期待と信頼に応える企業として、さらなる飛躍を図っていきたくと考えております。

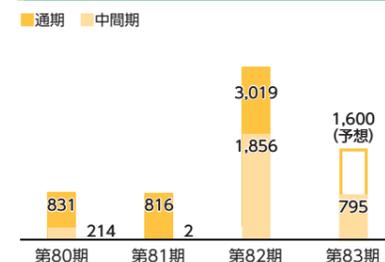
なお、中間配当金につきましては、1株につき17円とさせていただきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

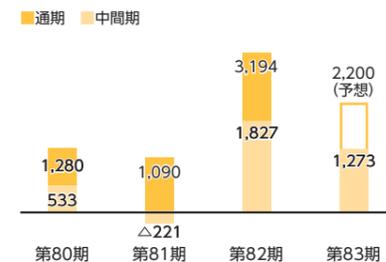
## 売上高 (百万円)



## 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



## 営業利益又は営業損失 (百万円)



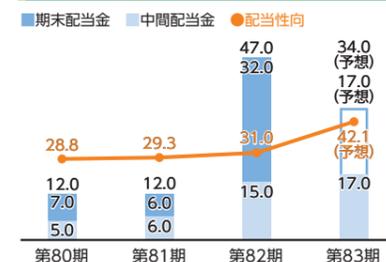
## 総資産(百万円)・純資産(百万円)・自己資本比率(%)



## 経常利益 (百万円)



## 配当金(円)・配当性向(%)



日本

ゴムシート類の販売は減少しましたが、家電用ホース・産業用ホース・自動車部品の販売が増加し、売上高は11,162百万円（前年同期比486百万円4.6%増加）となりました。原材料価格等高騰の影響や人件費・諸経費の増加等により、セグメント利益（営業利益）は172百万円（前年同期比329百万円65.6%減少）となりました。

米州

米国では、円安による為替換算上の影響等により増収となりましたが、諸経費の増加等により減益となりました。メキシコでは自動車部品の販売が増加したこと等により増収・増益となりました。その結果、売上高は11,774百万円（前年同期比818百万円7.5%増加）、セグメント利益（営業利益）は1,174百万円（前年同期比22百万円1.9%減少）となりました。

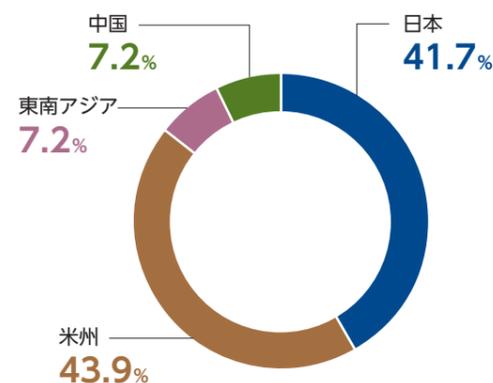
東南アジア

タイでは、自動車部品の販売が増加したことや円安による為替換算上の影響等により、増収となりましたが人件費・諸経費の増加等により減益となりました。マレーシアでは、家電用ホースの販売が増加したことや円安による為替換算上の影響等により、増収・増益となりました。その結果、売上高は1,928百万円（前年同期比204百万円11.9%増加）、セグメント利益（営業利益）は111百万円（前年同期比11百万円11.9%増加）となりました。

中国

中国では、自動車部品の販売が減少したことにより、売上高は1,924百万円（前年同期比502百万円20.7%減少）となりました。減収の影響等により、セグメント損失（営業損失）は236百万円（前年同期はセグメント損失42百万円）となりました。

売上高構成比



トピックス

国際フロンティア産業メッセ2024に出展

当社は2024年9月5日から9月6日まで開催の「国際フロンティア産業メッセ2024」（会場：神戸国際展示場）に、新規事業部からロボットハンド用柔軟指「ソフトラロボ」を中心に製品を出展しました。

【出展概要】

- ・ワーク形状や重心などの制限を受けにくく、しっかりと把持が可能、ハンドへの取付けも簡単な「ソフトラロボ」シリーズ。
- ・サンプル展示とロボットによるワーク把持のデモンストレーションを実施。



特設会場講演

ソフトラロボ

東南アジアへの営業基盤の拡大



【イメージ図】

当社の汎用樹脂ホースは、北米・日本において高いシェアを維持しております。東南アジアにおいても、汎用ホース事業を拡大させ、世界に冠たるホースメーカーを目指して発展を続けて参ります。

その施策として、Tigerflex(Thailand) Co., Ltd.(TFT)を2023年10月タイに設立、2024年10月工場建設を着工、2026年1月工場稼働の計画を進めております。TFTを中心に、2023年4月マレーシアに設立したTiger Asian Trading(Malaysia)Sdn. Bhd.(TATM)とも連携し、東南アジア全域への拡販を目指して参ります。

また、タイ現地ホースメーカーとの協業、日本の汎用品商社とも連携した販路開拓で、将来に向けた盤石な基盤造りを進めております。

グローバルな生産・供給体制を構築

タイガースポリマーグループでは、国内外に生産拠点・販売拠点・開発拠点を展開し、日本国内の事業所及び国内・海外の子会社との有機的なネットワークを形成することにより、グローバルな生産・供給体制を構築しています。

- ① 本社
- ② 東京支店
- ③ 名古屋支店
- ④ 大阪支店
- ⑤ 広島支店
- ⑥ 栃木工場
- ⑦ 静岡工場
- ⑧ 岡山工場
- ⑨ 開発研究所
- ⑩ 購買部
- ⑪ Tigerflex Corporation (米国)
- ⑫ Tigerpoly Manufacturing, Inc. (米国)
- ⑬ Tigerpoly Industria de Mexico S.A. de C.V. (メキシコ)
- ⑭ Tigerpoly(Thailand)Ltd. (タイ国)
- ⑮ Tigerflex(Thailand) Co.,Ltd.(タイ国)
- ⑯ Tigers Polymer(Malaysia)Sdn.Bhd.(マレーシア)
- ⑰ Tiger Asian Trading(Malaysia)Sdn.Bhd.(マレーシア)
- ⑱ 杭州泰賀塑化有限公司 (中国)
- ⑲ 広州泰賀塑化有限公司 (中国)
- ⑳ 武庫川化成株式会社 (兵庫県)
- ㉑ 高槻化成株式会社 (大阪府)
- ㉒ タイガース工販株式会社 (兵庫県)
- ㉓ ラバー・フレックス株式会社 (大阪府)



研究・開発

独自性の高い新製品の提供で、市場ニーズを先取り、持続可能な社会へチャレンジ

当社は、「お客様に価値の高い製品を提供する」という社長方針に基づき、ゴム及び樹脂など原料の最適提案、様々な解析技術による、機能・部品設計・提案・成形技術及び品質保証を行いながら、日々研究開発に取り組んでいます。前期から各開発部門より専門性を持ったメンバーを集結させ、プロジェクトチームを組み、新規開発テーマへ向けた研究、生産性向上、省人化を目的とした自動化工程の推進を行っています。このような開発技術による生産支援を当社グループの国内・海外工場へ実施しております。

今後も、新しい技術を用いた研究開発においては、カーボンニュートラルに向けた取り組みや電動車用部品の研究開発に、そして産業用ホース、理化学用・食品用チューブ、インフラ向けゴムシートといった製品においては、市場のニーズを先取りするだけでなく、持続可能な社会へ貢献できる製品開発に、チャレンジし続けます。



産業用ホース



理化学用・食品用チューブ



ゴムシート

電動車用部品（開発推進）

自動化工程



ホイールレゾネーター



加圧型リザーブタンク



水冷配管自動化工程



脱型自動化工程